

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 [使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)]

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	和東町総合保健福祉施設	階数	地上2F
建設地	京都府相楽郡和東町	構造	RC造
用途地域	指定なし(都市計画区域外)	平均居住人員	100人
地域区分	5地域	年間使用時間	4,380時間/年(想定値)
建物用途	事務所・集会所・病院等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年9月 予定	評価の実施日	2023年4月28日
敷地面積	5,594㎡	作成者	坂田 佳隆
建築面積	1,631㎡	確認日	2023年4月28日
延床面積	2,448㎡	確認者	伊藤 泰行

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.5</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★ C: ★</p>	<p>30% ★★★★★ 60% ★★★★★ 80% ★★★★★ 100% ★★★★★ 100%超: ★★★★★</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q1 室内環境</p> <p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>LR1 エネルギー</p> <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR3 敷地外環境</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Q のスコア = 3.4</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア= 3.5</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア= 3.3</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア= 3.3</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LR のスコア = 3.4</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア= 3.4</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア= 3.4</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア= 3.3</p>

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
<ul style="list-style-type: none"> 自然採光、自然通風を積極的に取り込む 地域住民の交流の拠点となるような場を内外ともに計画 		0
<p>Q1 室内環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 居住域空調の採用 ハイサイドライトの導入 用途に合わせた照度計画 F★★★★以上の建材使用 	<p>Q2 サービス性能</p> <ul style="list-style-type: none"> ゆとりのある階高、天井高設定 リフレッシュスペースの確保 地域産材の活用 災害に備えた構造、設備計画 	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域住民の交流の場となる公共空間を内外ともに計画 WS、パブリックコメントの実施
<p>LR1 エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> 断熱性の高い外装材 太陽光発電の設置 	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <ul style="list-style-type: none"> リサイクル材の使用 	<p>LR3 敷地外環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 燃焼機器の不使用 十分な駐車、駐輪台数の確保

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される